

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 16 年 10 月 21 日 (2004.10.21)

【公表番号】特表 2000-501953(P2000-501953A)
【公表日】平成 12 年 2 月 22 日 (2000.2.22)
【出願番号】特願 平 9-520469
【国際特許分類第 7 版】
A 6 1 B 7/04
【F I】
A 6 1 B 7/04 N

【手続補正書】
【提出日】平成 15 年 10 月 22 日 (2003.10.22)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年10月22日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第520469号

2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング
カンパニー

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37 森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通



方 式 審 査



請求の範囲

1. 電子聴診器において、

患者の体内で発生する関心音を感知するためのマイクロフォン手段 (102) と、

関心音を受信するように作られ、少なくとも2つのスペクトル分離作動モードを備えるフィルタ手段であって、

関心音を受信し、それにより、第1エンファサイズド通過帯域のゲインが第1デエンファサイズド通過帯域のゲインより約15 dB以下0 dB以上だけ大きくなる、約20～100 Hzからの第1エンファサイズド通過帯域と約100～500 Hzからの第1デエンファサイズド通過帯域とを含む全通過帯域に一致するベル作動モードを生成するベルモード手段 (110) と、

関心音を受信し、それにより、第2エンファサイズド通過帯域のゲインが第2デエンファサイズド通過帯域のゲインより約15 dB以下0 dB以上だけ大きくなる、約20～200 Hzからの第2デエンファサイズド通過帯域と約200～500 Hzからの第2エンファサイズド通過帯域とを含む全通過帯域に一致する振動板作動モードを生成する振動板モード手段 (108) と、
を含むフィルタ手段と、

作動モードを選択するためのモード選択手段 (130) と、

ユーザが聴取できるようにフィルタ処理音を再生するためのスピーカ手段 (116) と、
を具備する電子聴診器。

2. ユーザ調整可能音量つまみをさらに有し、当該ユーザ調整可能音量つまみの少なくとも1つの音量設定で、再生音の出力レベルが従来のアコースティック聴診器の出力レベルとほぼ同等である請求項1記載の電子聴診器。

3. 前記フィルタ手段がさらに広帯域作動モードを備え、またさらに前記フィルタ手段が関心音を受信するための広帯域モード手段 (106) を含み、それにより約20～2000 Hzから広帯域通過帯域を生成する請求項1記載の電子聴診器。

4. 前記第1エンファサイズド通過帯域のゲインが、前記第1デエンファサイ

ズド通過帯域のゲインより約10 dBだけ大きい請求項1記載の電子聴診器。

5. 前記第2エンファサイズド通過帯域のゲインが、前記第2デエンファサイズド通過帯域のゲインより約10 dBだけ大きい請求項1記載の電子聴診器。

前記聴診器が、AAAバッテリーにより電力供給される請求項1記載の電子聴診器。

6. 選択した作動モードを視覚表示するためのモード表示手段をさらに含む請求項1記載の電子聴診器。